

① ブナ美林



【メモ】

甕山は、その一帯が加無山県立自然公園に指定されており、その中でも、女甕山の山腹は国内有数のブナ林帯となっている。このブナ林は、落葉広葉樹でできた広大な原生林であり、人の手が入っていない原始景観地帯である。

ブナは、北海道から九州まで広く分布しており、日本の森林を代表する樹木と言われ、その原生林は特に豊かな自然の象徴とされている。

真室川町においては、町面積の 50%程度をブナ林が占めており、このことから自然豊かな町であることが見て取ることができる。

また、ブナ林内部での森林浴では、外部と比較して 3~5℃程度気温が低くなっているほか、樹木が持っている香の成分(デルピン)を浴びることができ、ストレスやうつ病などの病気に効果があると言われている。

【参考】：加無山県立自然公園甕山観光の手引(巨木の森ガイド会)